

# 千葉の園芸

発行所 千葉市中央区市場町1-1  
公益社団法人千葉県園芸協会  
連絡先 043(223)3005  
発行日 毎月1日  
令和6年10月号

## 魅力ある品種を広めて千葉の野菜の価値を高める新たなチャレンジ

公益社団法人 千葉県園芸協会  
専務理事兼総務企画部長 石家 健生

千葉県園芸協会の正会員である日本種苗協会千葉県支部（以下「日種協千葉県支部」）主催のワークショップ（グループ討議）を契機に、県内直売所において、日種協千葉県支部の会員がお勧めする特長ある品種の魅力アピールしながら販売し、千葉の野菜の価値を高める新たなプロジェクトが始まりました。

### 1. はじめに

この取組は、本県の農業産出額が全国6位に後退し、農産物価格の低迷や資材価格の高騰など産地に危機感が高まっていた令和5年1月に、日種協千葉県支部の越部理事から「野菜の価値を高めるための取組を議論したい」との申し入れから始まりました。その後、令和5年6月の日種協千葉県支部総会時に、県や園芸協会の職員を交えたワークショップを行い、その結果を基に、園芸協会が以下のプロジェクト案を取りまとめ、今年度の実施に至りました。

### 2. 野菜の価値を高めるプロジェクトの概要

#### (1) 事業の概要

日種協千葉県支部の会員がお勧めする価値のある品種・品目を県内の直売所に提案し、その価値（美味しさ、便利さ、環境への貢献など）をアピールしながら、価値に見合った価格での販売を進める。

#### (2) 意義

- ①直売所を活用することで消費者に直接価値をアピールできる
- ②農家、直売所、関係事業者の売上アップ
- ③千葉の野菜のイメージアップ
- ④消費者・生産者の評価が良ければ市場出荷に繋げ産地全体への波及も可能

### 3. 今年度の実施状況

#### (1) 実施直売所

1年目は試験的な実施とし、運営主体や地域性を考慮の上、趣旨に賛同を得た次の7直売所としました。  
①JA八千代市ファーマーズマーケット「よったいよ」  
②道の駅やちよ③農産物直売所かしわで④道の駅・水の郷さわら⑤道の駅くりもと「紅小町の郷」⑥JA山武郡市「山武緑の風」⑦JA長生ながいき市場

#### (2) 対象品種

日種協千葉県支部の会員から参加希望のあった品種について、県、日種協千葉県支部、園芸協会の担当者で協議し、ミニトマト、コマツナ、ホウレンソ

ウ、スティックカリフラワー、ニンジン、スイートコーン、ナス、ピーマン、パプリカ、キュウリ、メロン、ハクサイ、ダイコン、カブ、キャベツ、インゲン、スナップエンドウ、ソラマメ、タマネギ、中玉トマト、ザーサイの21品目、33品種としました。

#### (3) 生産者への栽培支援

生産者は栽培の上手な方に限定し、種子は無償で配付しました。併せてアンケート用紙を配付し、当該品種の生産者評価を調査しました。また、栽培をサポートするため、種苗会社が作成した栽培指導の動画等を園芸協会のホームページに掲載しました。

#### (4) 消費者への品種PRと評価の把握

チーバくんマークと品種の特長を記したシール（右図参照）を園芸協会で作成、生産者に配付し、小袋に貼付して販売しています。また、消費者の評価を把握するため、QRコードを活用し、抽選で野菜セットが当たるアンケートを実施中です。



### 4. これからの取組

日種協千葉県支部では、今年7月の総会でもワークショップを行い、今後は収穫体験等の食育要素も加え、この取組を進めていきたい等の提案がありました。園芸協会では、野菜の持つ様々な価値を多くの消費者に認知して頂き、生産者や関係事業者の収益確保に繋がるよう、こうした取組を県や農業団体、JA、市町村等の会員の皆様と連携して進めていきたいと考えています。



JA八千代市「よったいよ」の種なしピーマン販売風景。小袋に品種PRシールを貼付、ポップはJA八千代市作成